

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

平成28年度技術情報第3号(露地野菜の病害)について(送付)

露地野菜の病害対策について情報を取りまとめましたので送付します。4月中旬の調査での主要な病害はほぼ平年並み～やや少の発生となっていますが、むこう1カ月の気象予報では平年より気温が高く、降水量が多いと予想されています。このため、今後の発生に注意してください。

## 平成28年度技術情報第3号

1 農作物名 露地野菜

2 病害虫名 病害全般

3 発生状況

(1) 発生地域 県本土

(2) 発生量 やや多～多

4 情報の根拠

(1) 降雨が多かった前年は平年より病害の発生が多かったため、伝染源が残っていると考えられる。

(2) むこう1カ月の気象予報では平年より気温が高く、降水量が多いと予想されている。

(3) 本年は4月以降、平年より気温が高く推移しており、平成28年4月の病害の発生状況はやや少～並であるが、降雨が続くと病害の発生に好適条件となる(表1, 図1)。

5 前年発生が多く注意を要する病害

(1) カボチャの疫病

平成27年産の早熟カボチャで疫病が多発生しており、前年発生したほ場では、発病する危険性が高いため注意を要する。

(ア) 降雨が続くと急激に発生するので、薬剤防除は発生前から予防的に散布する。

(イ) ほ場の排水を良好にし、敷きわらなどで病原菌のはね上がりを防ぐ。

6 近年発生が認められた病害

(1) カボチャの果実斑点細菌病(平成22年確認)

果実のほか葉、蔓にも細菌病に特徴的な水浸状の病斑を形成する(図2)。果実では、最初は直径1～2mm程度の小型の円形の斑点を形成し、やがて果実の生長とともに斑点の周囲が隆起して突起状(イボ果)になる(図3)。未発生ほ場では早期発見に努めるとともに、薬剤防除は発生前から予防的に防除する。

(ア) 強風雨後に茎葉の傷口から感染するので、銅剤による予防散布に努める。

7 その他発生が予想される作物と病害名

(1) カボチャの褐斑細菌病など

(2) スイカの炭疽病, 疫病など

(3) ネギのべと病, 軟腐病など

8 防除上注意すべき事項

(1) 降雨が数日続くと発生しやすく、発病後は急速に病勢が進展するので、防除は予防散布に重点をおき、適期を逃さないように注意する。

(2) 肥料切れや草勢の衰えは発生を助長するので、適正な肥培管理に努める。

(3) 罹病した茎葉, 果実は伝染源となるのでほ場外に持ち出し処分する。

(4) 病害発生による生育不良株は、早期に抜き取りほ場外へ持ち出し適切に処分する。

9 参考データ

表1 カボチャの主要病害の発生状況（巡回調査）平成28年4月

作物名	発生ほ場率 (%)		概評
	本年	平年	
うどんこ病	6	9	やや少
褐斑細菌病	0	11	やや少
疫病	0	0	並

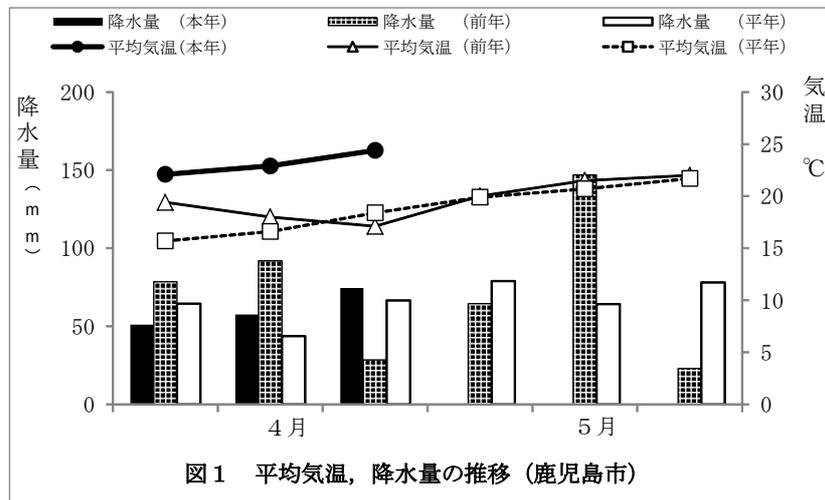


図1 平均気温、降水量の推移（鹿児島市）

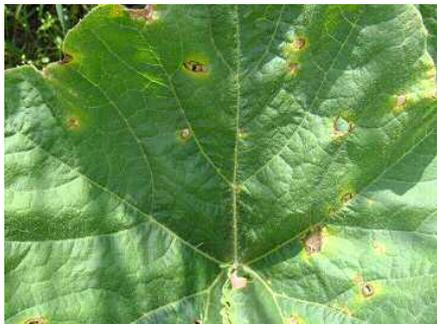


図2 カボチャ果実斑点細菌病（葉）



図3 果実斑点細菌病（果実）